

# 学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）の見方【小学校版】

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

## 生活習慣等に関する調査

さいたま市の小学校 第6学年の回答状況と自分の回答状況

質問項目の内、さいたま市が重視している10項目を抜粋して掲載しています。

将来に関する意識	将来の夢や目標をもっている。	%	◎
学校生活	学校に行くのは楽しい。	%	
自尊意識	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	%	◎
基本	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	%	
基本	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	%	◎
学びに向かう力	家で自分で計画を立てて勉強をしている。	%	
読書習慣	読書が好き。	%	
キャリア教育	学ぶことや働くことの意義を考えたり、今、学んだこと、自分の将来とのつながりを考えている。	%	

### 表の見方

○さいたま市の回答状況  
今回のさいたま市学習状況調査「生活習慣等に関する調査」の各質問項目に、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」や「している」「どちらかといえばしている」など）を選択した小学校第6学年の児童の割合（%）を示しています。

○自分の回答  
自分が、肯定的な回答をした質問項目に◎が表示されています。

調査結果から、自分の生活で直していこうと思うことを記入して、今後の生活に生かしましょう。

市の回答状況も参考にしながら、振り返ってみましょう。

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。

保護者より



「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」は、通知表用のファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語として御活用ください。

さいたま市教育委員会

## 令和6年度 さいたま市学習状況調査【小学校 第6学年】

### 学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）

お子さんの正答数を示しています。

市の平均正答数を示しています。分母は問題数を示しています。  
※ここでは、国語は、全18問のうち、市の平均正答数は〇〇問であることを示しています。

さいたま市の平均正答率と自分の正答率を比べて

科目	自分の正答数	問	市の平均正答数	問
国語	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/18問
算数	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/19問
社会	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/16問
理科	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/20問

領域等の正答率を示しています。お子さんの正答率と市の平均正答率を示しています。第4学年と第6学年のお子さんは、今年の自分の正答率も示されています。

- 正答数  
本調査は、一つ一つの問題に正答できたかどうかをみるために実施しています。そのため、点数ではなく、正答数(正答の合計数)で示しています。
- 市の平均正答率  
さいたま市の児童が、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。
- 自分の正答率  
あなたが、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。

【令和6年度発行】  
さいたま市立教育研究所



さいたま市教育委員会

名前

「学力に関する調査」の設問ごとの解答状況等を確認することができます。  
 保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、称賛するとともに、どこにつまずきがあるのか一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

## 令和6年度 さいたま市学習状況調査【小学校 第6学年】

調査結果表 6年 名前

○ 他と同じような問題も解くことができるかどうか、いろいろな問題にチャレンジしてみましょう。  
 × - 問題をよく読んで、もう一度解いてみましょう。問題を解くだけでなく、見直しで行いましょう。  
 × - もう一度、学習内容を振り返ってみましょう。復習した後には問題を解きなおして、理解できているか確かめましょう。



国語

さいたま市の児童が各設問に正答した割合(%)を示しています。  
 ○: 正答 ×: 誤答 -: 無解答 を示しています。

領域等	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
国語の特徴や使い方を活用する	1	(1)①			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(親)
		(1)②			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(兄)
		(1)③			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(母)
		(1)④			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(父)
		(1)⑤			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(家)
	2	(2)			文の中の主語と述語の関係を理解することができる。
		(3)			文の中の主語と述語の関係を理解することができる。
		(4)			文の中の修飾と被修飾の関係を理解することができる。
		(5)			相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。
		(5)			相手に場面に応じて適切に敬語を使うことができる。
読みの力を活用する	2	(2)			目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけて読むことができる。
		(3)			登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基にとらえながら読むことができる。
	3	(1)			登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基にとらえながら読むことができる。
		(2)			自分の考えが伝わるように、適切な図表を用いて書き表し方を工夫することができる。
4	(1)			自分の考えが伝わるように、適切な図表を用いて書き表し方を工夫することができる。	
	(2)			自分の考えが伝わるように、適切な図表を用いて書き表し方を工夫することができる。	
話し合いの力を活用する	5	(1) 助言①			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。
		(1) 助言②			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。
	① 助言③	(1)			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。
		(2)			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。
	(2)			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。	

設問ごとの市の平均正答率を示しています。

算数

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
数と計算	1	(1)			小数の減法の計算をすることができる。
		(2)			減法と除法の混合した整数の計算をすることができる。
		(3)			分数、小数、整数の混合した計算をすることができる。
	2	(2)			1にあたる大きさを求めることに除法が用いられることを理解している。場面と図の関連を理解している。
		(3)			除法の性質を用いて、分数の除法を考えることができる。
		(4)			基準量と比較量に着目し、式に合う問題を選ぶことができる。
		(5)			問題の場面を把握し、円の半径から円周を求めることができる。
		(6)			角柱の底面や高さがどこかを理解し、体積を求めることができる。
図形	7			図形を構成する要素に着目し、作図をしている図形を考えることができる。	
	8			縮尺を基にして、実際の長さを求めることができる。	
	9			基準量・比較量・割合の関係を捉え、比較量を求めることができる。	
変化と関係	10	(1)			部分を求める場面において、線分図に対応する比の関係を考えることができる。
		(2)			部分を求める場面において、線分図に対応する比の関係を考えることができる。
	11			示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。	
データの活用	12	(1)			円グラフに表されている事柄を読み取ることができる。
		(2)			円グラフに表されている事柄を読み取ることができる。
	14			データを二次元の表にまとめることができる。	
15	(1)			データを二次元の表にまとめることができる。	
	(2)			データを二次元の表にまとめることができる。	
15				示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。	

社会

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
地理的環境と人々の生活	1	(1)			八方位(南東)を理解している。
		(2)			消防署と工場の地図記号を理解している。
		(3)			土地の高さの違いや地図記号から、市の地形の特色を読み取ることができる。
		(4)			土地利用の変化に着目して、市の様子の変化を考えることができる。
	2	(1)			飲料水が供給される仕組みを、資料から読み取ることができる。
		(2)			地域の発展に尽くした先人の働きを読み取ることができる。
	3	(1)			大量の情報や情報通信技術がスーパーマーケットで活用されているよさを資料から考えることができる。
		(2)			情報を有効に活用することについて、情報の受け手の立場から考えることができる。
4	(1)			国土の自然災害の状況について理解している。	
	(3)			日本国憲法の基本的な考え方と国民生活と関連付けて、憲法の特徴や役割を考えることができる。	
歴史と人々の生活	5	(1)			年表を手掛かりに、源氏物語絵巻がえがかれた時代と、その時代を代表する文化を選択することができる。
		(2)			書院造の部屋や生け花の様子を手掛かりに、室町時代に広まった文化を選択することができる。
	6			8世紀ごろの日本と世界のつながりなどを手掛かりに、我が国が大陸文化を摂取してきたことを読み取ることができる。	
現代社会の仕組みや働きと人々の生活	6	(1)			年表を手掛かりに、織田信長や豊臣秀吉が戦国の世を統一した過程を考えることができる。
		(2)			明治政府による諸改革を手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れた近代化を進めたことを考えることができる。
	(3)			年表を手掛かりに、織田信長や豊臣秀吉が戦国の世を統一した過程を考えることができる。	

設問のねらいを示しています。

理科

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
エネルギー	1	(1)			電気の通り道を「回路」ということを理解している。
		(2)			乾電池の直列つなぎについて、正しいつなぎ方と働きを理解している。
		(3)			回路に流れる電流の向きと簡易検流計の読み方を理解している。
	2	(1)			実験の結果を基に、ふりがが1 往復する時間はふりがこの長さによって変わることを理解している。
		(2)			ふりがが1 往復する時間が変わった要素について、より妥当な考えをもつことができる。
	粒子	3	(1)		
(2)					食塩を水に溶かしても、全体の重さは変わらないことを理解している。
(3)				物は、水に溶けると液全体に広がることを理解している。	
生命	4	(1)			水の温まり方について予想に対する結果の見逃しについて、妥当な実験結果を選択できる。
		(2)			水の温まり方の実験結果をもとに予想を改善し、より妥当な考えをつくりだすことができる。
	5	(1)			種子が発芽するための条件を理解している。
		(2)			植物のからだのつくりについて、既習事項を他の植物にあてはめて考えることができる。
		(3)			実験結果をもとに、根から吸い上げられた水が、主に葉から蒸散により水蒸気として排出していると考えられる。
地球	6	(1)			根から吸い上げられた水が主に葉から水蒸気となって排出される現象名について理解している。
		(2)			植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを調べる実験方法について構想している。
		(3)			「堆積」という科学的な言葉や概念を理解している。
7	(1)			土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見逃すことができる。	
	(2)			土地の侵食について、実験結果を基に分析して考察し、より妥当な考えをつくりだすことができる。	
7	(1)			地層に見られる大地のずれを「断層」という科学的な言葉や概念を理解している。	
	(2)			地層に含まれる堆積物と地層の形成過程の関係について理解している。	

国語でがんばりたいこと 算数でがんばりたいこと 社会でがんばりたいこと 理科でがんばりたいこと

調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。